

安全・安心 元気な弦打 コミ協7部会紹介

弦打校区コミュニティ協議会には7つの部会があります。住民の安全・安心や生き生きした弦打を目指し活動しています。各部会の現状、今後の計画などを各部会長に聞きました。

青少年育成部会

松浦 一郎 部会長

青少年育成部会は、弦打校区青少年健全育成連絡協議会と協働して、青少年の健全育成や非行防止活動に積極的に取り組んでいます。

①校区内夜間巡視パトロール 連合自治会や小学校PTAをはじめ校区内の各種団体よりご支援をいただき、主に公園や神社など子どもが集まりやすい場所を重点にパトロールしています。

②非行防止(万引防止)活動 子どもたちへの規範意識を高めるとともに、地域全体で万引防止活動に取り組むために、校区内にあるお店に、のぼりやステッカーの貼付などのご協力をいただいています。

③弦打地区ふれあい交流事業への参加

④餅つき大会 三代交流事業の一環として毎年12月にコミュニティセンター駐車場で実施しています。

⑤青色パトロールカーの運行 登下校時、夜間のパトロール▽弦打校区(郷東町、鶴市町、飯田町)およびイオン高松、勝賀中学校周辺を巡回。登録車両に青色回転灯、標章をつけて、警察の実施する講習を受講した2人が同乗します。

交通安全防犯部会

川西 裕幸 部会長

わたしたち交通安全部会では、交通安全キャンペーンなど交通安全にかかわる啓発を中心に活動を行っています。

他の部会と違い少人数で、現在8人で活動中です。部会のテーマは「だれもが安心できる安全なまちづくり」です。

テーマはわたしたちだれもが暮らしていく上で大切で重要なものです。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

保健福祉部会

清水 由美子 部会長

「健やかに生き生きと暮らせるまちづくり」を部会テーマとし、以下の4グループに分かれて、計画・実践をしています。

①高齢者などへの支援 福祉委員、福祉協力員活動の活性化のため、活動状況を交流し、見守り・声かけなど、地域福祉にかかわる活動を進めていく予定です。

②情報発信 「広報つるうち」にいきいき人生の掲載および「福祉弦打」の編集への協力をしています。また、人材バンクを充実させ、サロン活動や敬老会での余興依頼に活用してほしいと思います。

③交流活動 各種団体の年間活動を一覧にすることで、各団体からの必要に応じて、部会で協力しています。

④居場所づくり 保健福祉部会を中心とした居場所づくりをヨハネの里(地域包括支援センターの窓口)で実施することになりました。1回目はサロン活動事業責任者の方に集まっていただき、デイサービスの交流および意見交換会をしました。

今後も各グループおよび地域の方々をつなぐ福祉の拠点として、できることを検討しています。

環境衛生部会

富本 二郎 部会長

環境衛生部会では、かつては弦打校区内の耕作放棄地やカーブミラーの点検など地域の環境や交通安全設備の調査を行い、行政への提言を行ってきました。

現在は部会での討議の結果、不法投棄に注目して調査をしてきましたが、まずは地域の散乱ゴミのパトロールを定期的に行い、その中からテーマを発掘していくことにしています。

また、継続活動として木太鬼無線開通後の交通安全上の観点からの提言を検討してまいります。

防災部会

春田 敬司 部会長

近年大規模災害が多発し、もはや災害は遠くで起こることだといえません。近い将来必ず来るといわれており、最も甚大な被害をもたらすであろう、南海トラフ巨大地震が発生したことをも想定し、非常時に的確に対応できる体制の確立と防災意識の高揚や、地域の防災力の向上を図ることが求められています。

また、災害の規模が大きくなればなるほど「自助(自分の身は自分で守る)・共助(力を合わせて助け合い、自分たちのまちを守る)」が重要となります。普段から近隣の方と顔見知りになり、地域での協力体制を作ることが必要です。

このことから、防災部会では「災害発生時にみんなで協働できるまちづくり」をテーマに自主防災会・自治会・民生児童委員会・消防団を中心に弦打地区内の各種団体などと協働して次の事業を行ってまいりました。①弦打地区防災ファイルの改訂と整備 ②避難所マニュアルの作成 ③弦打校区防災本部体制の確立 ④防災士・地域防災リーダー養成などの人材育成 ⑤校区全体の防災訓練 ⑥防災関係の研修会参加。そして、本年度から新たに「防災・福祉マップ」を作成し、校区内の支え合いを推し進められるための情報共有を行ってまいります。

(コミ協部会紹介、右ページに続く)

つるうち.ネット 検索

校区内の出来事やお知らせ情報満載。ぜひアクセスを

生涯学習スポーツ部会

川崎 正視 部会長

生涯学習・スポーツ部会は、弦打の子どもから高齢者までの生涯学習やスポーツの振興に寄与し、地域みんなの福祉に少しでも貢献できたらと活動しています。現在部会員は13人です。

部会は主に次の三つの活動を行っています。

一つ目は、屋外での活動として「ふるさと学習探検隊」と「里山ハイキング」です。弦打のさまざまな場所を訪れ、歴史や人々の暮らしを歩いて学んだり、近在の里山に登り、さわやかな汗をかこうとハイキングを実施しています。今までにふるさと学習探検隊で訪れたところは、石清尾山古墳群、飯田の遍路道、郷東や鶴市の史跡、水道資料館などです。また、里山ハイキングとして、浄願寺山、石清尾山、勝賀山、袋山など、弦打地区内だけでなく、日ごろ弦打から見える山々に登ってきました。

二つ目は、コミュニティセンター講座への協力などです。平成28年度は年間のコミュニティセンター講座の全体計画づくりに参加したほか、夏休みの子どもたちを対象にした竹を使ったスピーカー作りなどの講座にかかりました。

三つ目は、以前から進めています「弦打風土記」(昭和44年刊)の続編の出版にさらに一層取り組んでいくことです。部

いきいき人生 ～輝くシルバー世代～ 第7回



紀伊 晴子さん(87歳)
郷東町

紀伊晴子さんは昭和4年、現在の香川県仲多度郡満濃町で農家の長女として生まれました。合併により、今はなくなった旧吉野尋常高等小学校を卒業の後、20歳頃、ご結婚され、長男長女のお二人の子どもにも恵まれましたが、34歳の時より、女手一つで2人の子どもを養育されながら、独身を買ってきたので、さぞご苦労の多い人生であったと思われます。しかし立派に生き抜いて、現在の静かに落ち着いた幸せを築かれました。弦打とのお縁は郷東町の三和メーター有限会社に就職されてから69歳で退職されるまで、真面目に働き続け、会社の上司をはじめ周りの人々から厚い信頼を得られたことにあります。この間、子どもさん達はそれぞれ結婚・独立されて、長男は明石に、そして長女は牟礼町にお住まいです。牟礼町からは毎月、お惣菜を持って孝行娘が訪ねてくれるとか。この温かい家族関係は愛情深く子育てをされた紀伊晴子さんの人徳の賜でしょうか。

会の事業ではありませんが、平成28年度のゆめづくり推進事業で「弦打歴史散歩」(仮称)の編集・出版の取り組みが進んでいます。これらの成果を踏まえ発展させることで「弦打風土記・続編」に関する調査を進めていきたいと考えています。そこで、地区内のみなさんには聞き取りや古い写真の提供をいただくこととなりますが、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

生涯学習・スポーツ部会は、毎月第3月曜日の午後7時から、弦打コミュニティセンターで定例会を開いています。かかわってみようと思われる方の参加をお待ちしています。

総務広報部会

別枝 美津子 部会長

総務広報部会は、住みよさを実感できるまちづくりを基本に、年2回「広報つるうち写真特集」を発行しています。部会に編集委員会を設け、各種団体や各部会の活動、コミュニティセンターでの行事、子どもから年配の方たちの頑張っている姿を取材させてもらい、明るく楽しい記事をお伝えします。皆さまの取材協力に感謝します。

また、高松市のゆめづくり推進事業について、各部会と連携し取り組んでいきます。

退職後は独り暮らしながら、健康に恵まれ明るい老後を楽しんで送ってられます。ご近所の人たちとの人間関係も円滑で、老人クラブでお作りになったのか、たくさんの色鮮やかな、作り花作品が玄関に飾られていました。

特に演歌がお上手で、川中美幸さんなどの歌を中心に毎月第3水曜日には公民館で素晴らしい声と旋律をご披露になっていて、「郷東名人」と称えられているそうです。自治会や老人会のイベントでは、気さくに歌ってくると関係者の皆さんからも感謝されていました。

さて、お会いした時の印象では、紀伊さんは健康そのもの、言語動作もきはきしてました。しかし糖尿病になりかけたこともあり、市民病院に通いながら、健康と食事には十分注意されているそうでした。食べ過ぎにならないよう、朝は軽くパンとバナナ等の果物、昼は主として麺類、そして夜は野菜たっぷりの料理を自分で用意されます。もちろん、必要な蛋白質の摂取を忘れることはありません。生活は規則正しく、午前7時起床。友人たちのお付き合いとかおしゃべりを楽しみ、夕食後はテレビのクイズ番組で頭の体操です。このように元気な生活を楽しんでいれば、認知症の心配は御無用でしょう。

私たちとしては、紀伊晴子さんのように「いきいき人生 輝く世代」にふさわしい方々が弦打を明るく住みやすい町にしてくれること望んでやみません。紀伊晴子さんのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

(担当者: 明石佐都子、平山秀子、井下久美子、横井義則)